

調査結果(抜粋版)

豊前市地域公共交通計画

- 回答者の年齢層は、「70代」(34.2%)が最も多い、次点の「60代」(22.6%)、「80代」(14.3%)と合わせると約7割を占めた。
- 回答者の家族構成は、「親もしくは子供との二世代」(35.9%)が最も多く、次点で「夫婦のみ」(35.3%)、「ひとり暮らし」(18.7%)であり、核家族が約9割を占める。
- 回答者の運転免許証の保有状況は、「自動車」(76.2%)を7割以上が保有しており、「保有していない」(18.2%)は約2割となった。
- 回答者の免許返納の意向は、「返納する予定はない」(73.1%)が7割以上を占め、「保有しているが返納するつもりである」(23.9%)を大幅に上回っている
- また、免許返納時の年齢は、70歳以上が多く、80歳が最も多い。

■調査概要

調査方法

調査票の郵送配布、郵送回収(WEB回収併用)
市報にWEBアンケートのQRコードを掲載

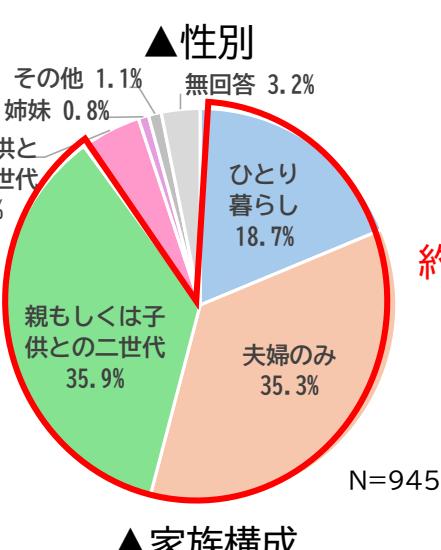
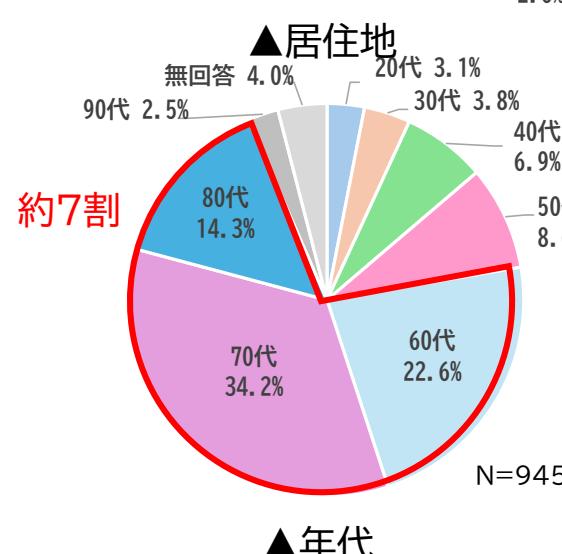
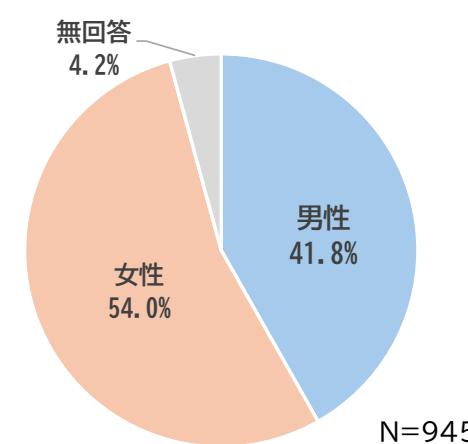
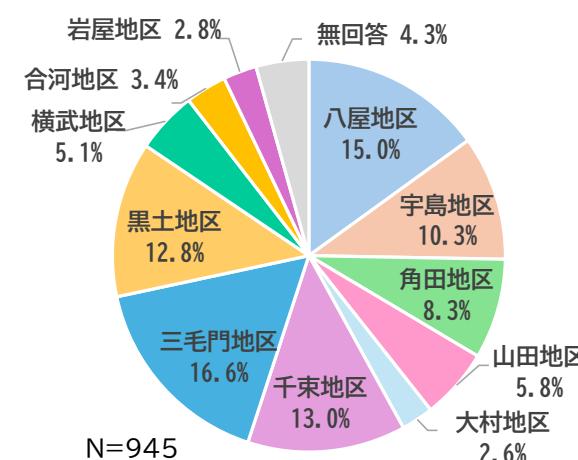
調査対象

豊前市民

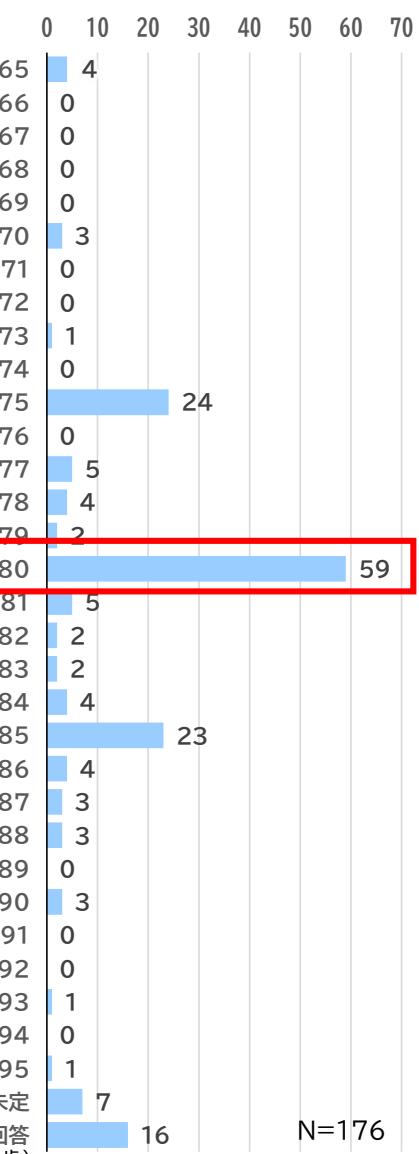
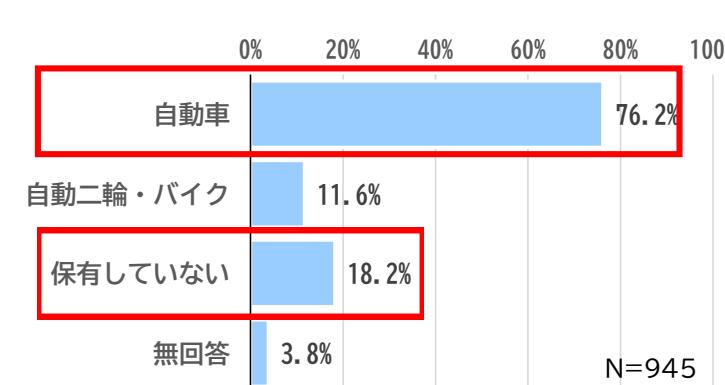
配布数

2,000部

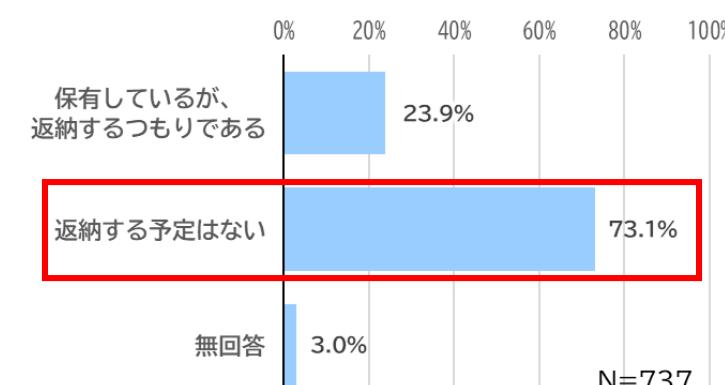
■回答者属性



■運転免許の保有状況



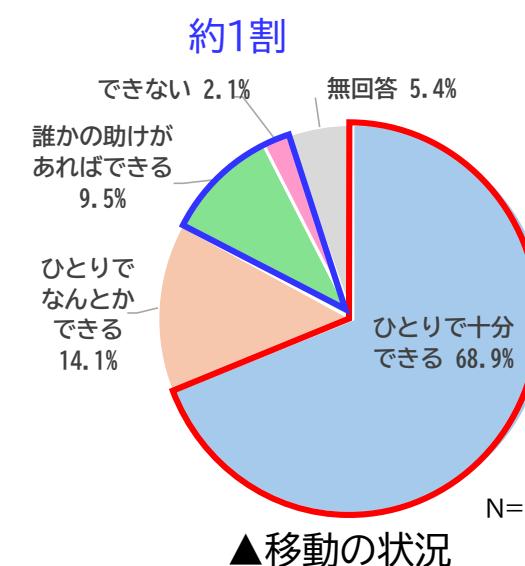
▲運転免許の保有状況



▲運転免許の返納予定

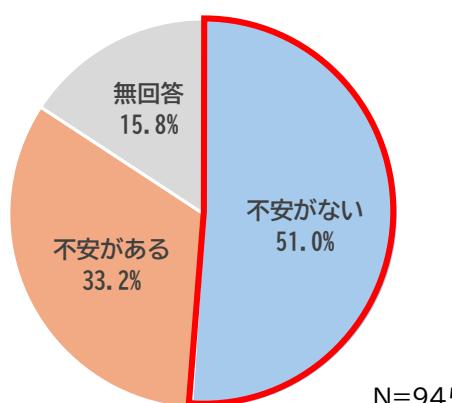
- 現在の買い物先への移動は、「ひとりで十分できる」(68.9%)が約7割で最も多い一方で、「誰かの助けがあればできる」(9.5%)「できない」(2.1%)と1人では移動が困難といった回答も約1割あった。
- 将来(5年後)の買い物先への移動について「不安がない」(51.0%)が約半数となっているが、将来(10年後)の買い物先への移動については「不安がない」(27.3%)が約3割に減少している。
- 普段の日常生活で利用する公共交通は、「JR」(30.5%)が最も多く、次点で「タクシー」(18.4%)が多くなっているが、「利用しない」(56.6%)が約6割を占めている。
- 市バス、デマンド型乗合タクシーを除いて、JR、コミュニティバス豊前・中津線、タクシーでは、利用すると回答した場合でも利用頻度は低い状況にあった。

■日常の移動について(買い物)

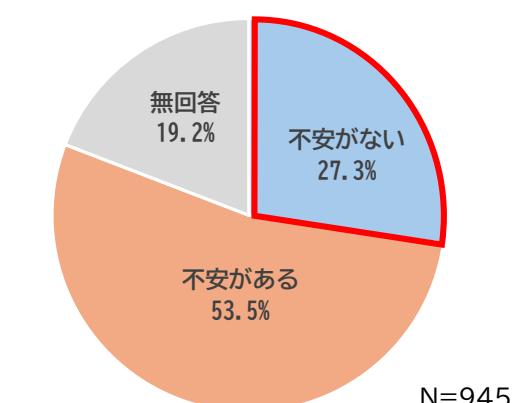


約7割

▲移動の状況



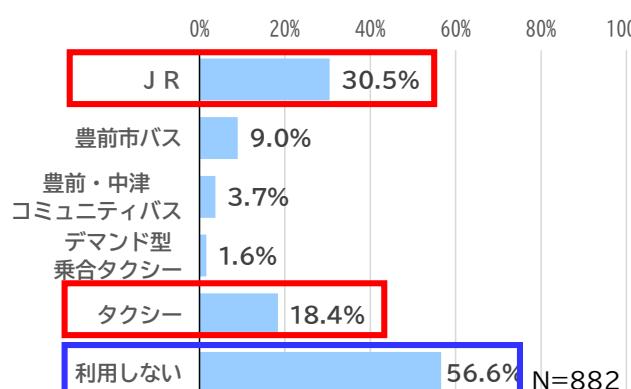
▲5年後の移動に対する不安



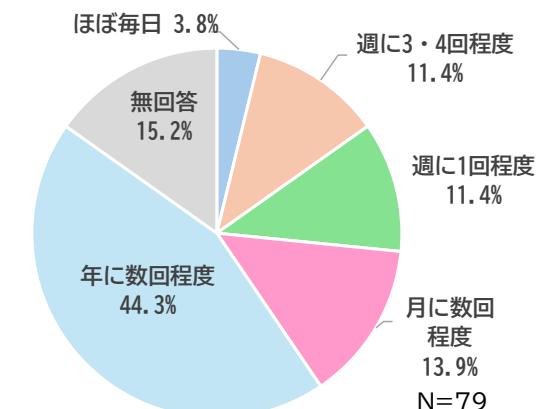
▲10年後の移動に対する不安

■公共交通の利用

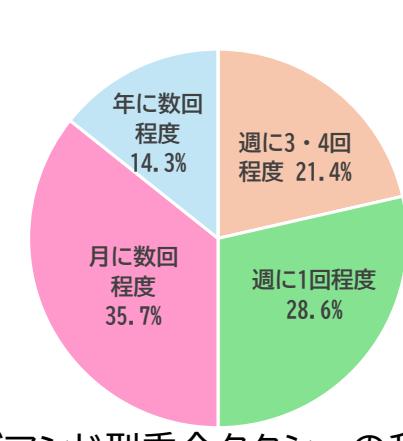
※四捨五入の関係で合計が100.0%とならない場合がある



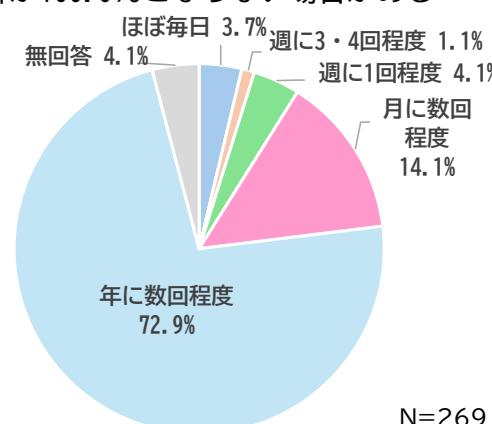
▲日常生活で利用する公共交通



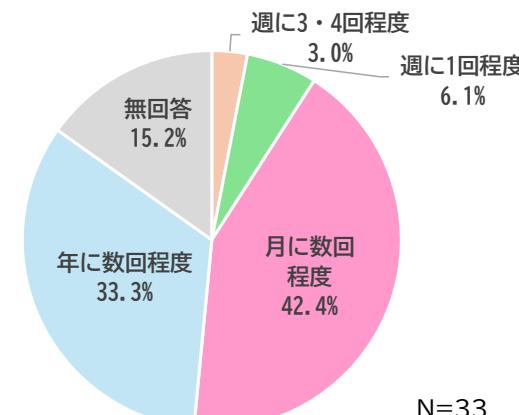
▲市バスの利用頻度



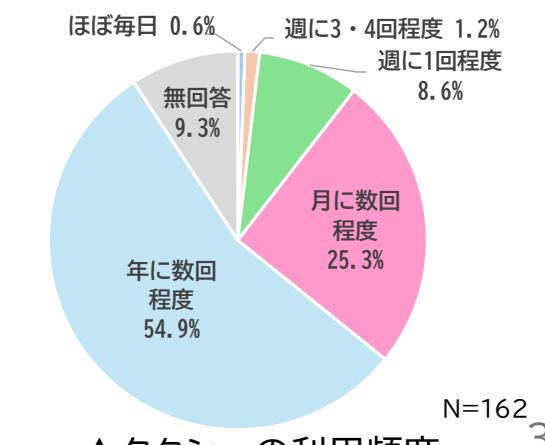
▲デマンド型乗合タクシーの利用頻度



▲JRの利用頻度



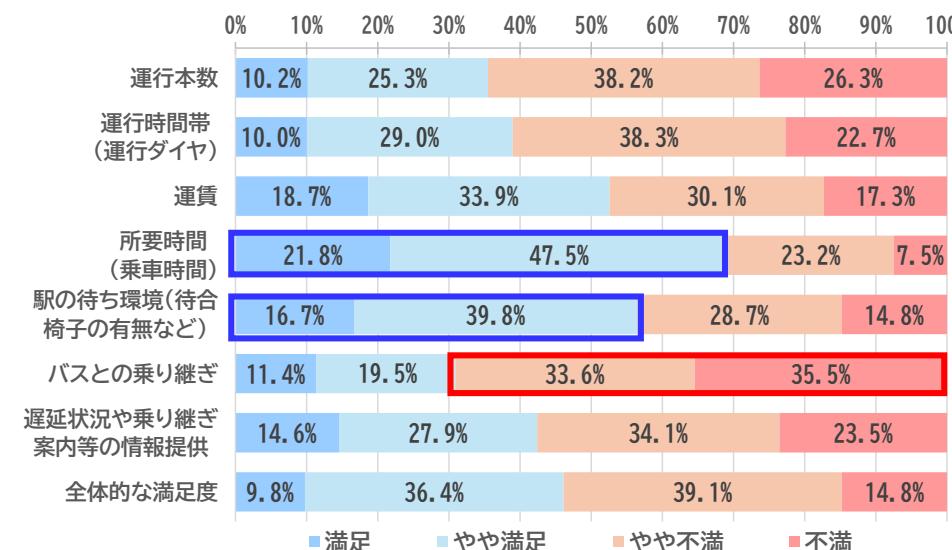
▲豊前・中津コミュニティバスの利用頻度



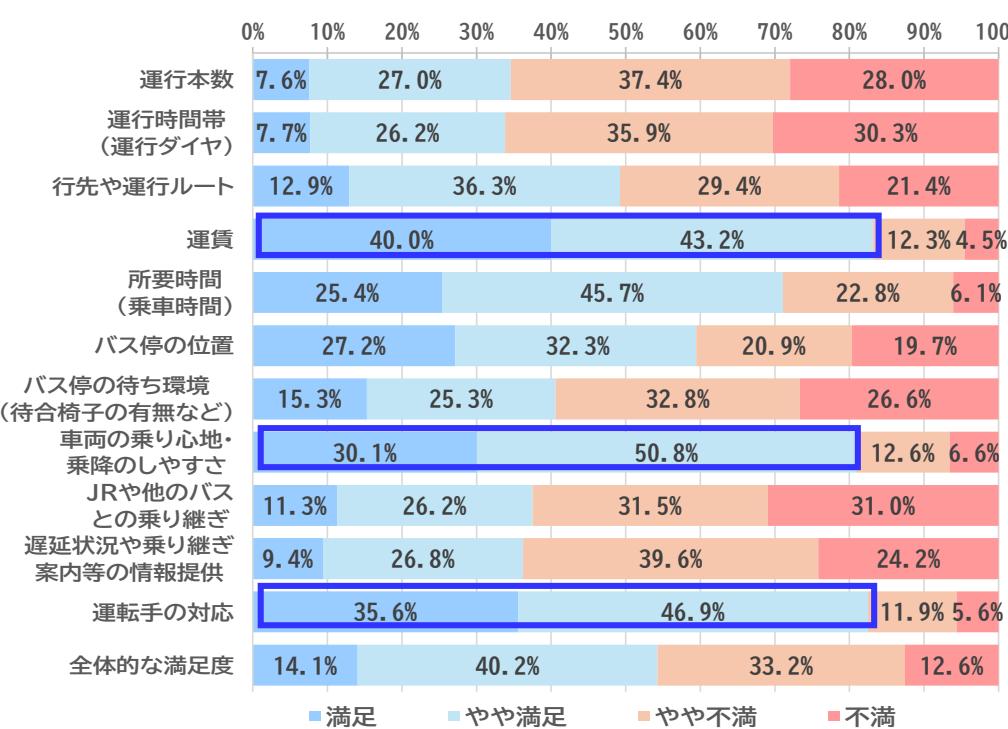
▲タクシーの利用頻度

- ・JRについては、「所要時間(乗車時間)」、「駅の待ち環境」、「運賃」の満足度(満足+やや満足)が高く、「バスとの乗り継ぎ」の不満度(不満+やや不満)が高い。
- ・豊前市バスについては、「運賃」、「運転手の対応」、「車両の乗り心地・乗降のしやすさ」の満足度(満足+やや満足)が高い。
- ・コミュニティバス豊前・中津線については、「運転手の対応」、「運賃」、「車両の乗り心地・乗降のしやすさ」、「所要時間(乗車時間)」の満足度(満足+やや満足)が高い。
- ・デマンド型乗合タクシーについては、「運転手の対応」、「車両の乗り心地・乗降のしやすさ」、「運賃」の満足度(満足+やや満足)が高い。

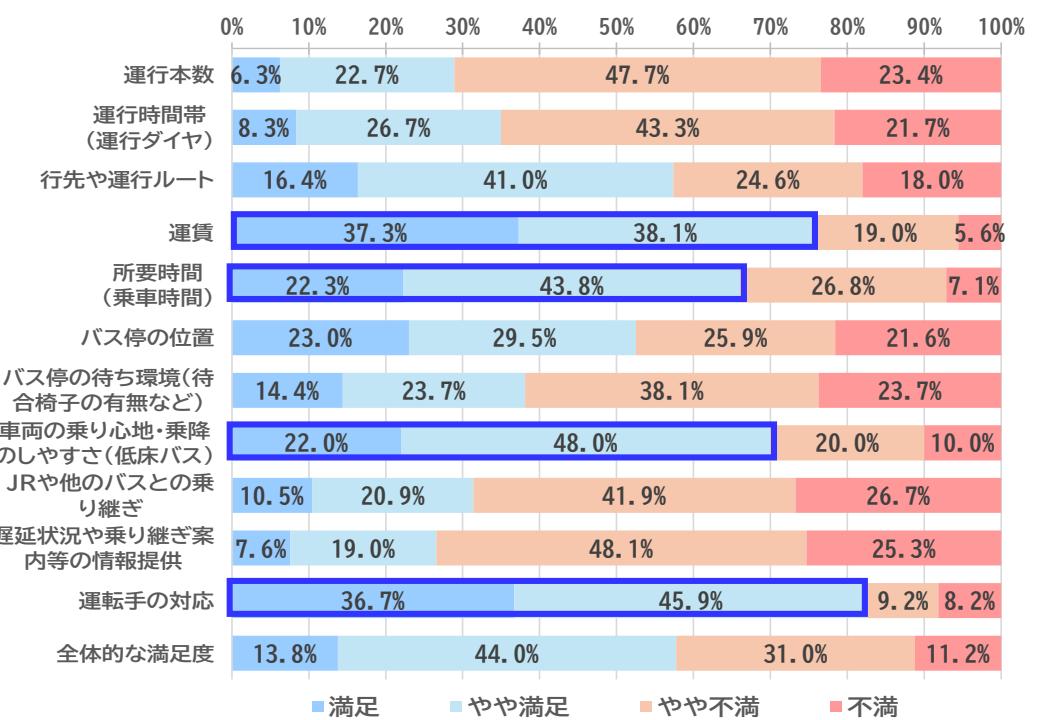
■公共交通の満足度 ※四捨五入の関係で100.0%とならない場合がある



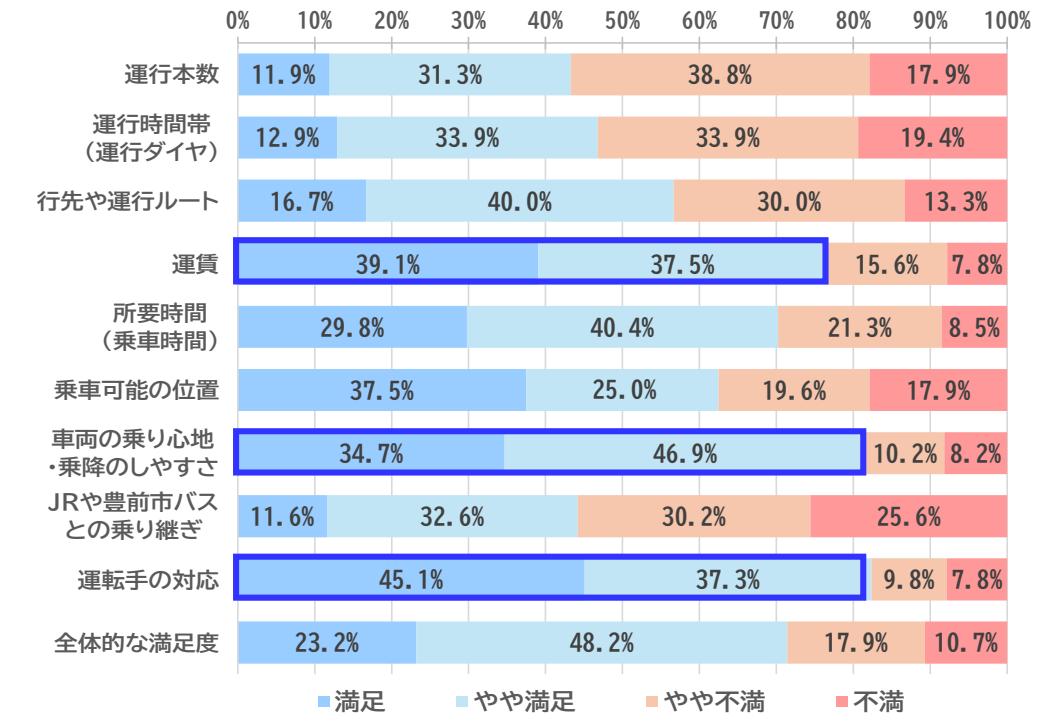
▲鉄道の満足度



▲市バスの満足度



▲豊前・中津コミュニティバスの満足度



▲デマンド型乗合タクシーの満足度

- 「黒土地区」から31票、「三毛門地区」から41票を回収。「黒土地区」では、「梶屋」(29.0%)、「堀立」(22.6%)、「広瀬・高田」(16.1%)の順で回答が多く、三毛門地区では、「三楽」(22.0%)、「市丸」(22.0%)が同数となり、「六郎」(14.6%)が続く。
- デマンド型乗合タクシーの利用の有無は、回答が多い「70代」「80代」では約4割、「90代」では約6割が、「利用したことがある」と回答した。
- デマンド型乗合タクシーの利用を増やすために必要なこととして、「目的地の追加」(40.7%)が最も多く、「利用時間帯の追加・変更」(33.3%)、「運行日の追加・変更」(29.6%)が約3割となっている。
- デマンド型乗合タクシーを利用しない・利用しにくい理由は、「現在、自家用車を運転している」(51.1%)が5割以上で最も多く、次点で「家族・知人等の送迎がある」(42.2%)が多く、自動車が利用可能な状況があることが上位を占めている。

■ 調査概要

調査方法

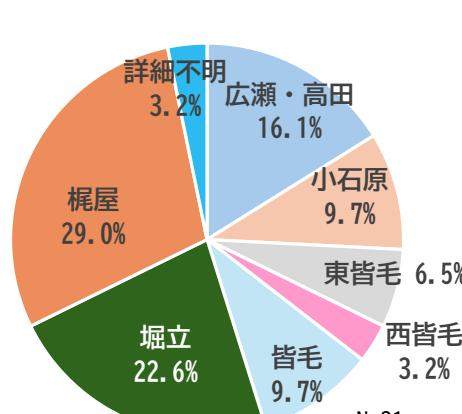
郵送配布・郵送回収(WEB回収併用)

対象者

利用登録済の方

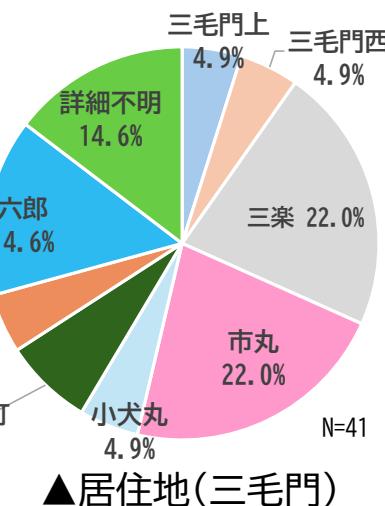
■ 回答者属性

※四捨五入の関係で100.0%とならない場合がある

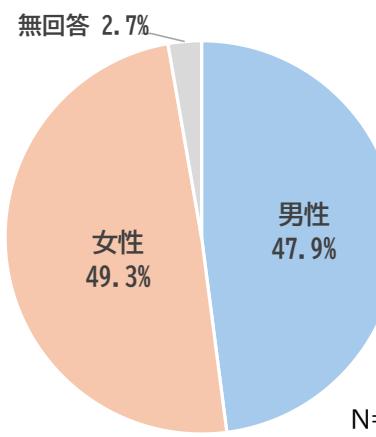


▲居住地(黒土)

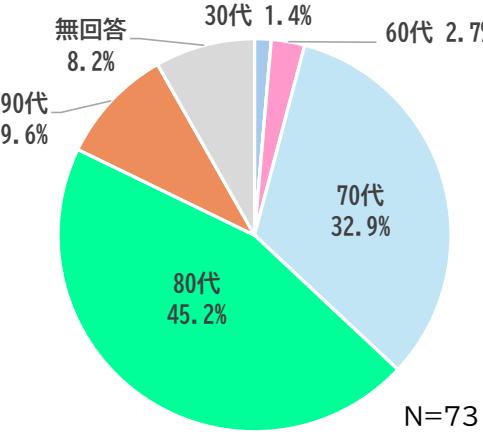
※1名居住地不明



▲居住地(三毛門)



▲性別

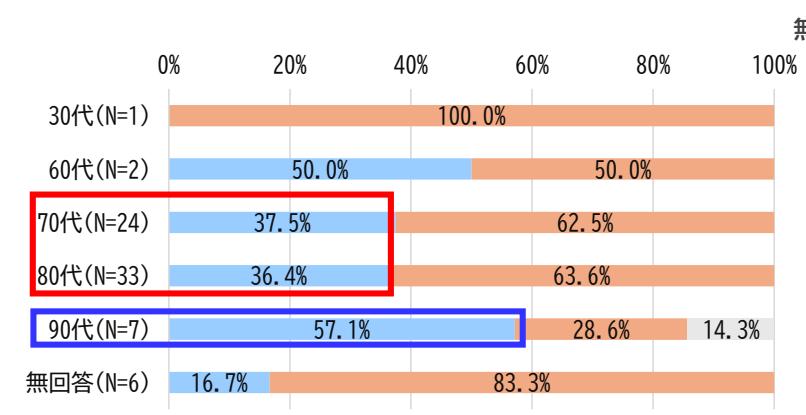


▲年代

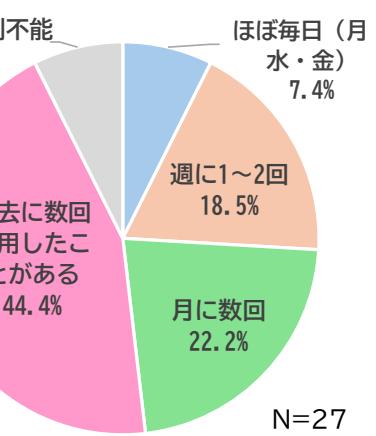
■ 利用状況

※四捨五入の関係で100.0%とならない場合がある

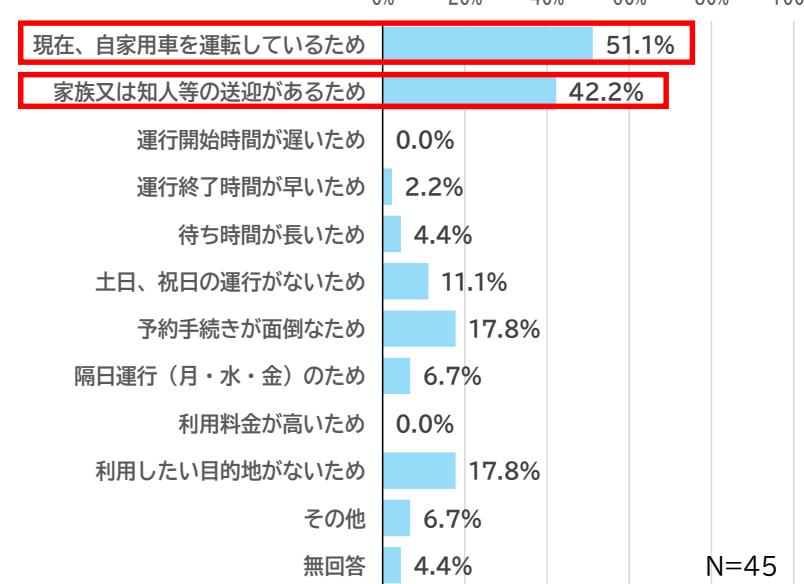
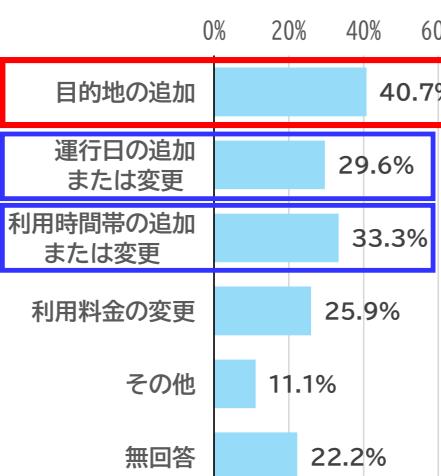
約4割
約6割



▲年齢別の利用の有無



▼ 利用回数・利用者数を増やすための必要項目



▲乗合タクシーを利用しない(しにくい)理由

- 施設利用者の居住地は、「豊前市内」(77.6%)が約8割、「豊前市外」(21.9%)が約2割であった。
- 施設利用者の年齢層は、「70代」(30.4%)が最も多く、次点の「80代」(21.2%)、「60代」(19.8%)と合わせると約7割を占めている。
- 本日の来訪手段は、「車(自分で運転)」(69.5%)が約7割で最も多く、次点で「車(家族・知人の運転)」(12.1%)、公共交通はいずれも1%以下となっている。
- 公共交通を利用して来訪した理由は、「他に交通手段がないから」(40.0%)が最も多く、次点で「自宅から駅・停留所が近いから」(30.0%)が多い。
- 普段、公共交通を利用する頻度は、「利用しない」(76.8%)が約8割で最も多く、利用している中では「年に数日」(12.1%)が多い状況にあり、利用頻度は非常に少ない傾向にある。
- 普段、公共交通を利用しない理由は、「自動車が楽」(56.7%)が約6割と最も多く、「運行本数が少ない」(12.9%)が次いで多い状況となっている。

■調査概要

調査方法

調査員を配置し、聞き取り調査

調査実施施設

トライアル豊前店、ゆめマート豊前店、スーパー細川豊前店
久永内科皮膚科、八屋第一診療所、清田整形外科

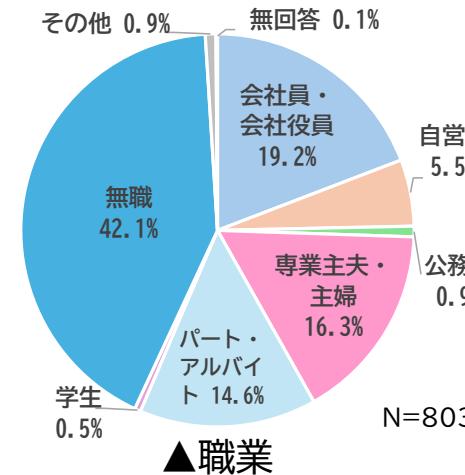
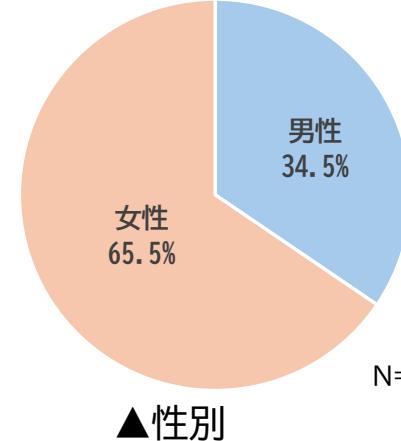
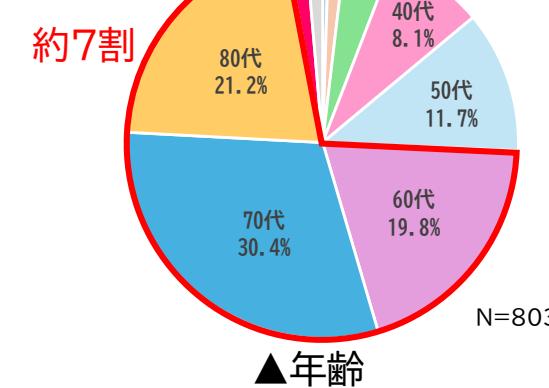
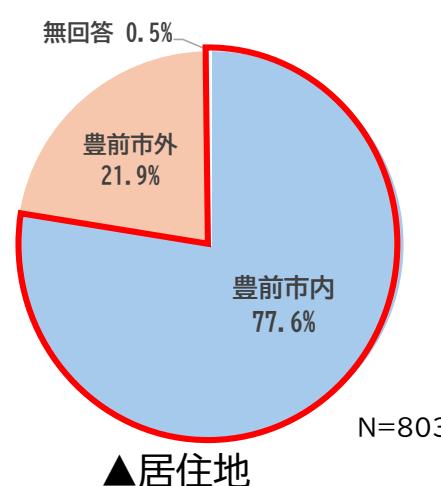
調査日

商業施設 10月25・26日

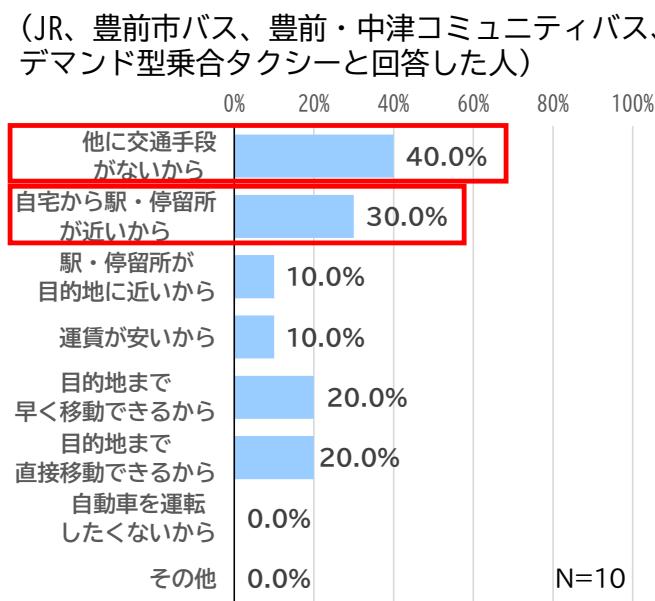
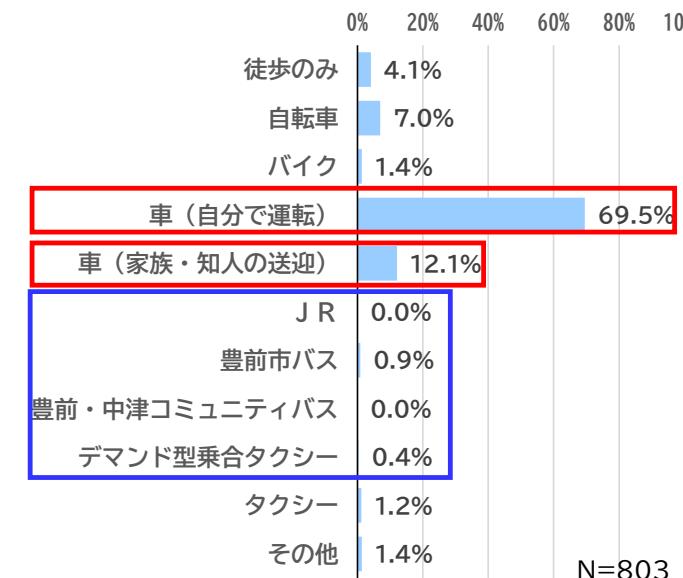
医療施設 10月24・25日

■回答者属性

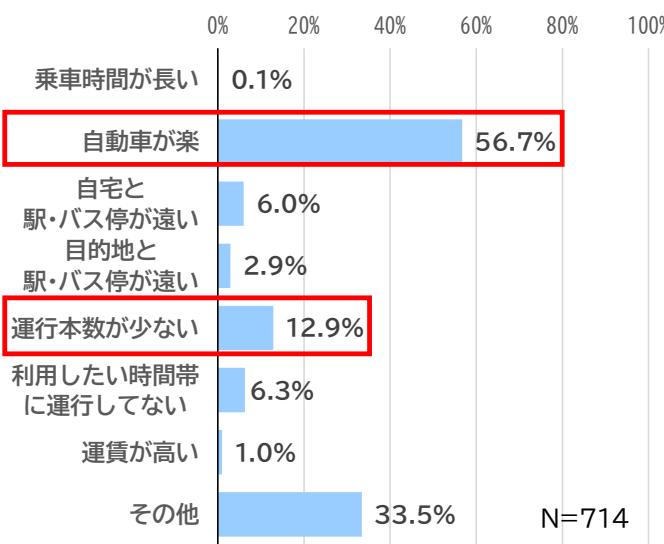
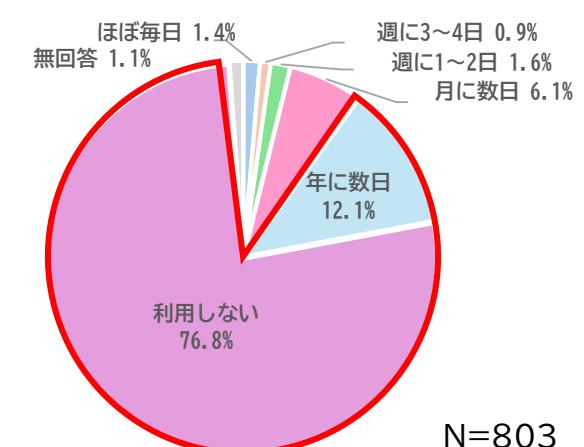
※四捨五入の関係で100.0%とならない場合がある



■本日の外出行動について



■日常の公共交通の利用について



▲日頃の公共交通の利用状況

▲公共交通を利用しない理由

- ・居住地は、「豊前市内」が96.2%で大半を占めており、性別は「男性」(50.6%)、「女性」(47.6%)がほぼ同数となっている。
- ・学年は、「2年生」(49.1%)が約5割、「1年生」(29.1%)が約3割、「3年生」(21.8%)が約2割の構成となっている。
- ・登校時の移動手段は、各中学校において規則があることから、徒歩、自転車が多く、青豊高等学校ではJR利用(JR利用前後で他の移動手段も利用)が多くなっている。
- ・公共交通での通学で困っている点として、「運行本数が少ない」(64.7%)が最も多く、次いで「利用したい時間帯の便がない」(47.1%)が多い。
- ・公共交通のサービスが改善された場合に公共交通で通学する可能性については、「通学方法は変わらない」(74.2%)が約7割と多い。(※回答者の大部分が中学生で、通学方法は学校の規則に従う必要があるため)

■調査概要

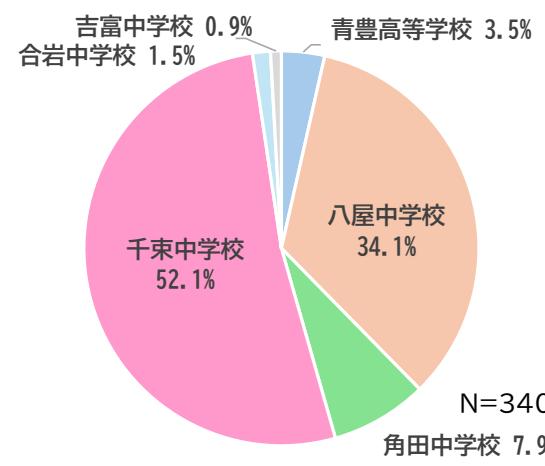
調査方法

学校より、WEBアンケートのQRコード付チラシを配布

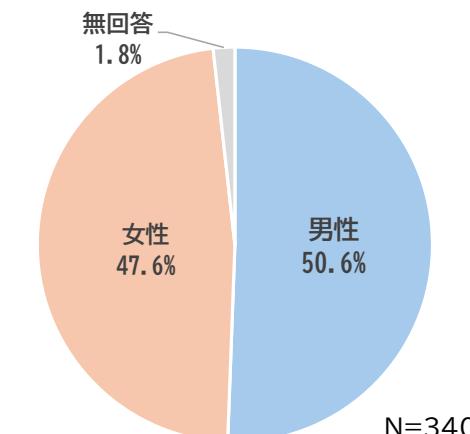
調査対象

青豊高等学校、八屋中学校、角田中学校、千束中学校
合岩中学校、吉富中学校

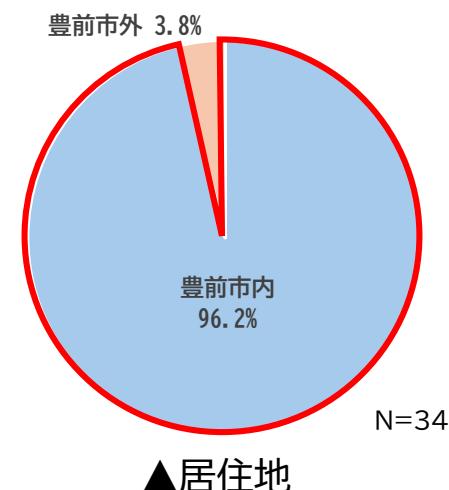
■回答者属性



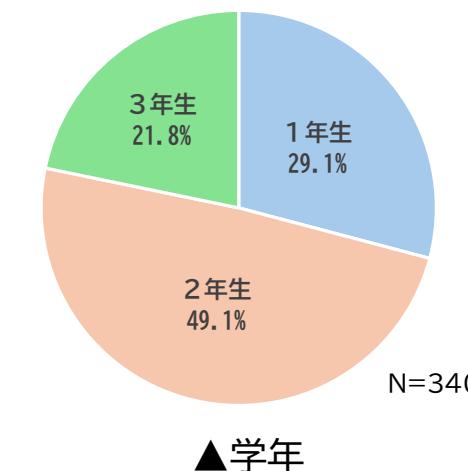
▲通学する学校



▲性別



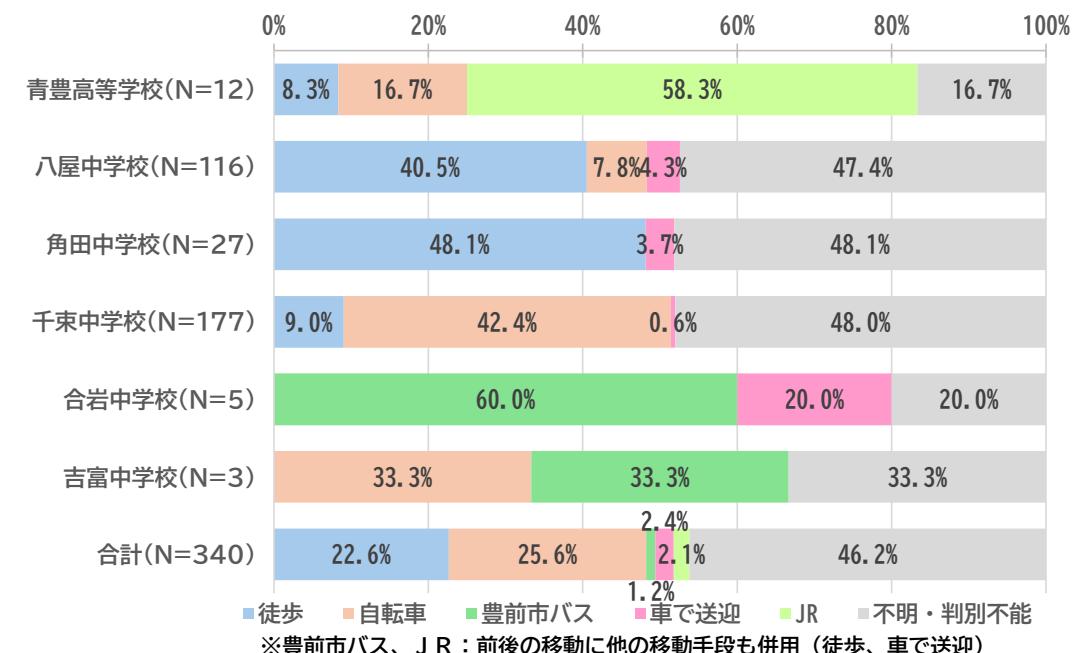
▲居住地



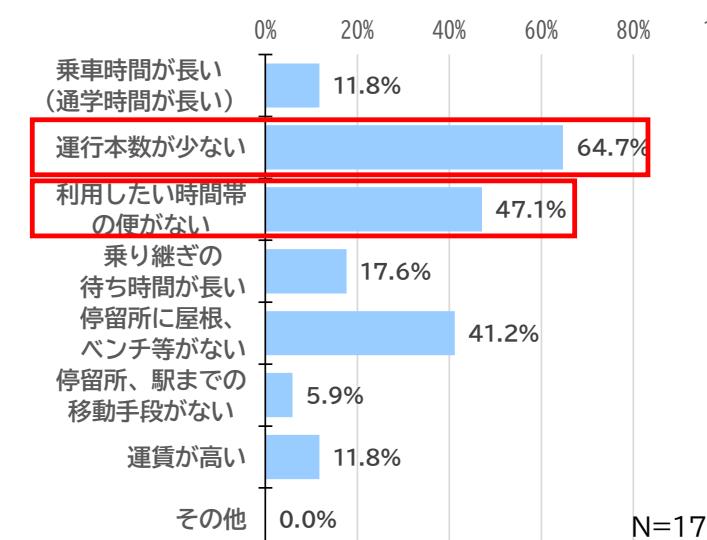
▲学年

■通学実態

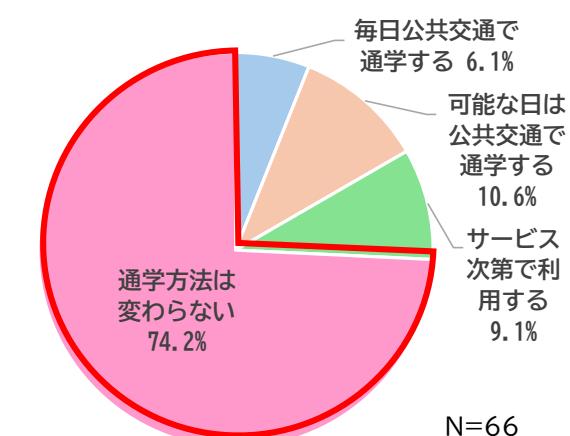
※四捨五入の関係で100.0%とならない場合がある



▲通学手段



▲公共交通での通学において困っていること
(JR、豊前市バスと回答した人)



▲公共交通での通学可能性

- ・送迎サービスの実施状況は、「実施している」が8施設(72.7%)、「実施していない」が3施設(27.3%)となっている。
- ・また、「実施している」施設のうち、「直営」が6施設(75.0%)、「委託」が2施設(25.0%)となっている。
- ・現在送迎サービスを「実施していない」施設は、3施設とも今後も「実施予定がない」と回答している。
- ・施設入居者が外出時の移動手段として、「施設入居者のうち全員が公共交通を利用していない」(54.5%)が半数を超えて最も多く、施設入居者の公共交通の利用が少ない実態であった。

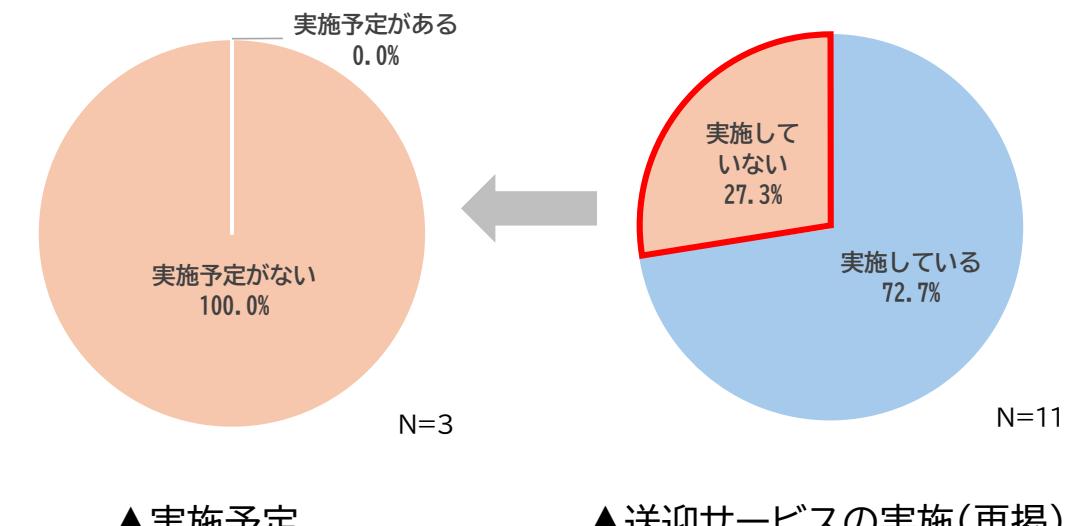
■調査概要

調査方法

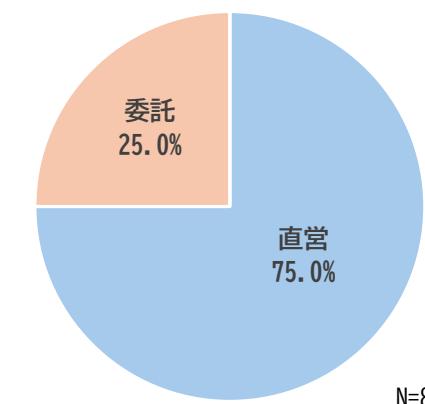
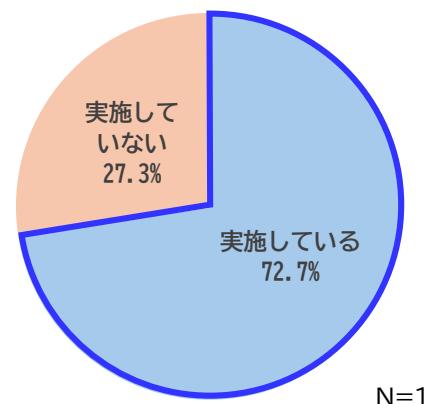
豊前市より、WEBアンケートへの回答を依頼

■回答施設

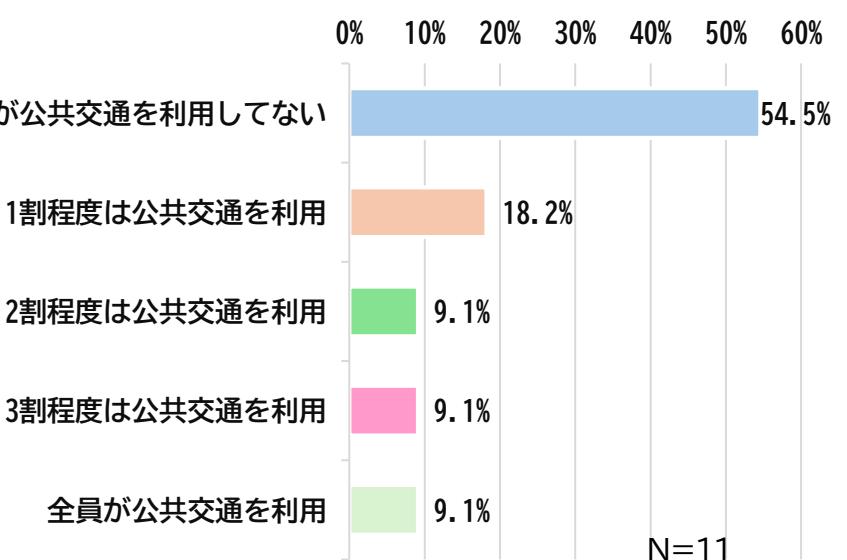
施設名	施設概要	施設住所
ケアポートぶぜん2番館	住宅型有料老人ホーム	豊前市赤熊1359-4
ケアポートぶぜん	特定施設入居者生活介護	豊前市赤熊1359-1
共同生活ホームあすなろ荘	共同生活援助	豊前市久路土1491-1
ケアハウスさくら	特定施設入居者生活介護	豊前市三毛門1340-1
ゆずりは荘	共同生活援助	豊前市大字久路土1487番地1、久路土1455番地1
ほうらい鳥越	住宅型有料老人ホーム	豊前市大字鳥越769-2
ラポールⅠ・Ⅱ	障がい者支援施設	豊前市大字塔田589-1
ほうらい山荘	介護老人保健施設	豊前市大字四郎丸1690-3
フラワーズヴィラおこしかけ	住宅型有料老人ホーム	豊前市大字四郎丸1308-1
ガーデンハウス恵光	障がい者支援施設	豊前市大字荒堀37-25
ガーデンハウスまぐら	障がい者支援施設	豊前市大字荒堀37-27



■施設入居者の公共交通の利用



施設入居者
のうち



▲外出時の公共交通を利用する割合

- ・1人で外出が困難な高齢者が受けている移動支援は、「同居していない親族や知人に送迎を依頼」(75.8%)が最も多く、次点で「同居する親族等に送迎を依頼」(72.6%)が多く、ともに7割を超えていた。
- ・地区ごとに移動手段がなく困っている高齢世帯数を聞いたところ、ほとんどの地区で移動手段がなく困っている高齢世帯が居住している状況がうかがえた。
- ・移動で困っている高齢者世帯の通院や買物の移動手段は、「別居の親族・知人に依頼」(34件)が最も多く、次点で「タクシー」(25件)が多くなっている。
- ・必要だと思う移動手段の工夫・サービス・移動支援の活動等として、「移動支援の仕組みづくり」(9件)が最も多く、次点で「福祉・介護タクシーの充実」(8件)が上位となっている。

■ 調査概要

調査方法

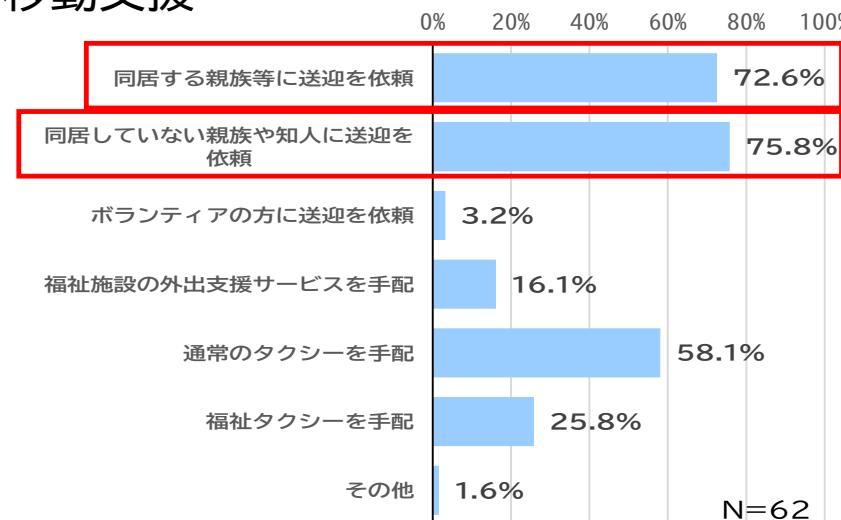
豊前市より、WEBアンケートへの回答を依頼

対象者

豊前市民生委員・児童委員

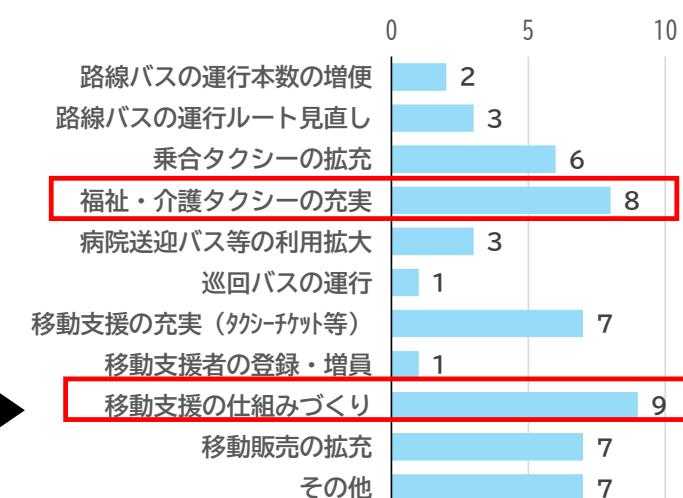
※一部主任民生委員からの回答も含む

■ 移動支援

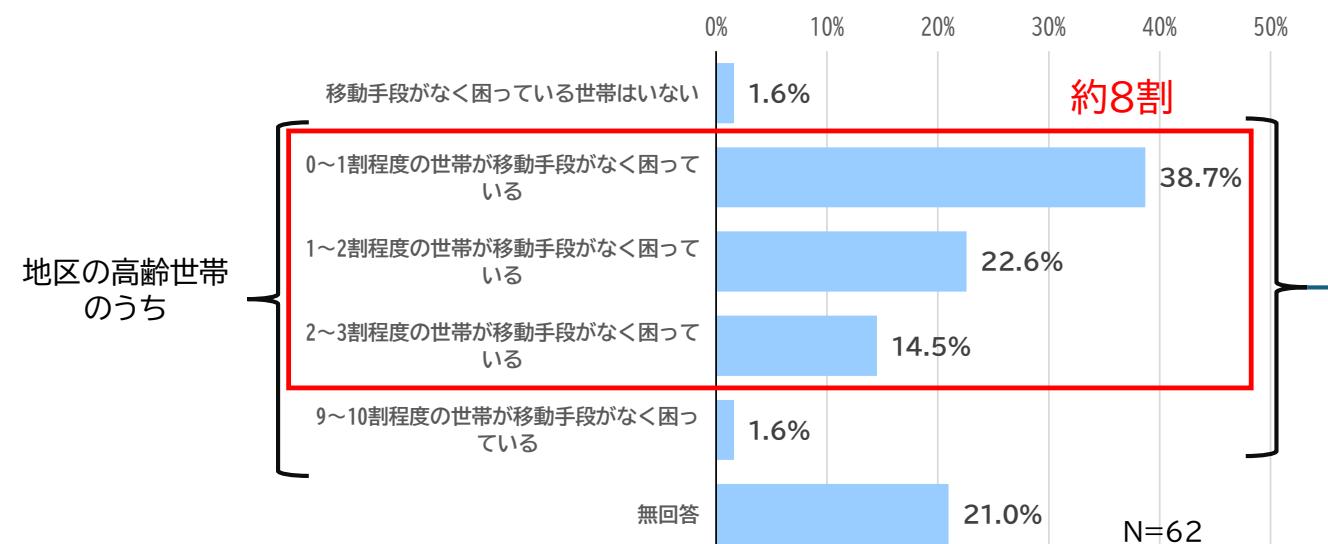


▲1人で外出が困難な高齢者が受けている移動支援

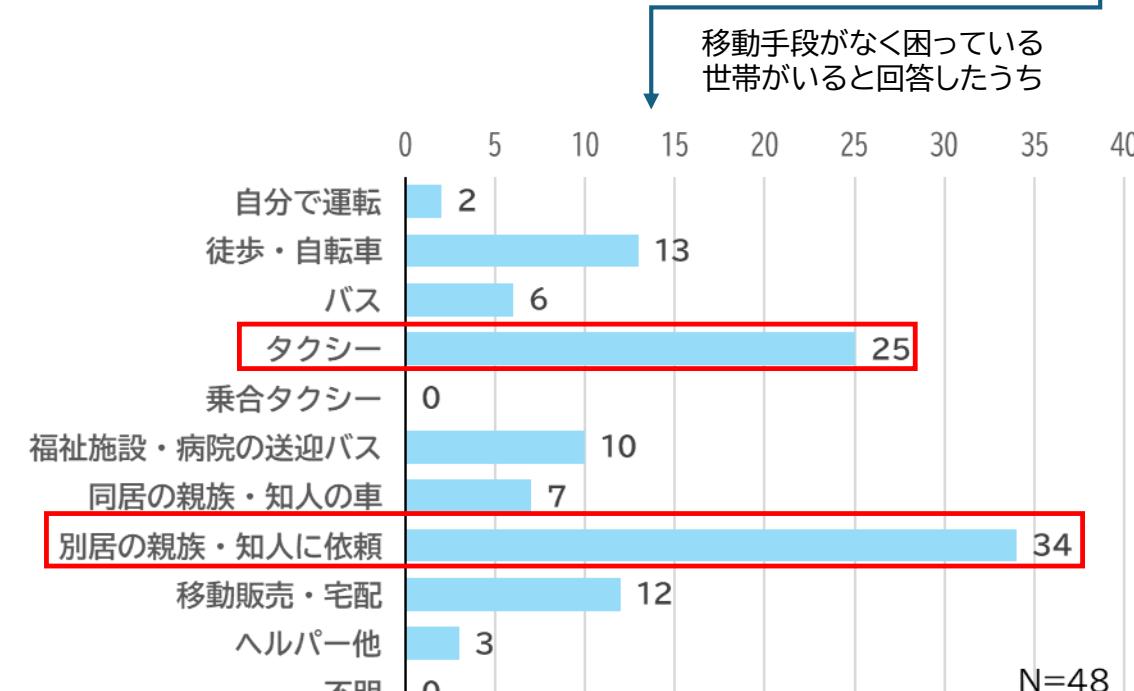
必要だと思う高齢者等
の移動手段の工夫・サー
ビス、移動支援活動等



■ 地域の高齢者の状況



▲移動手段がない高齢者世帯割合



▲移動で困っている高齢者世帯の移動手段

- ・買い物や通院で利用する交通手段は、「自家用車(自分で運転)」(83.6%)が約8割を占めて最も多く、次点が「自家用車(同居する親族等が運転)」(58.2%)で、「自家用車」が上位を占めている。
- ・公共交通では、「タクシー」(42.7%)、「市バス」(41.8%)が多く利用されている。
- ・移動で困っている高齢者等の世帯数は、現況では「1~5世帯」と「0世帯」が多く、5年後では「1~5世帯」と「6~10世帯」が多くなり、10年後は「11~20世帯」と「6~10世帯」が多くなっている。

■調査概要

調査方法

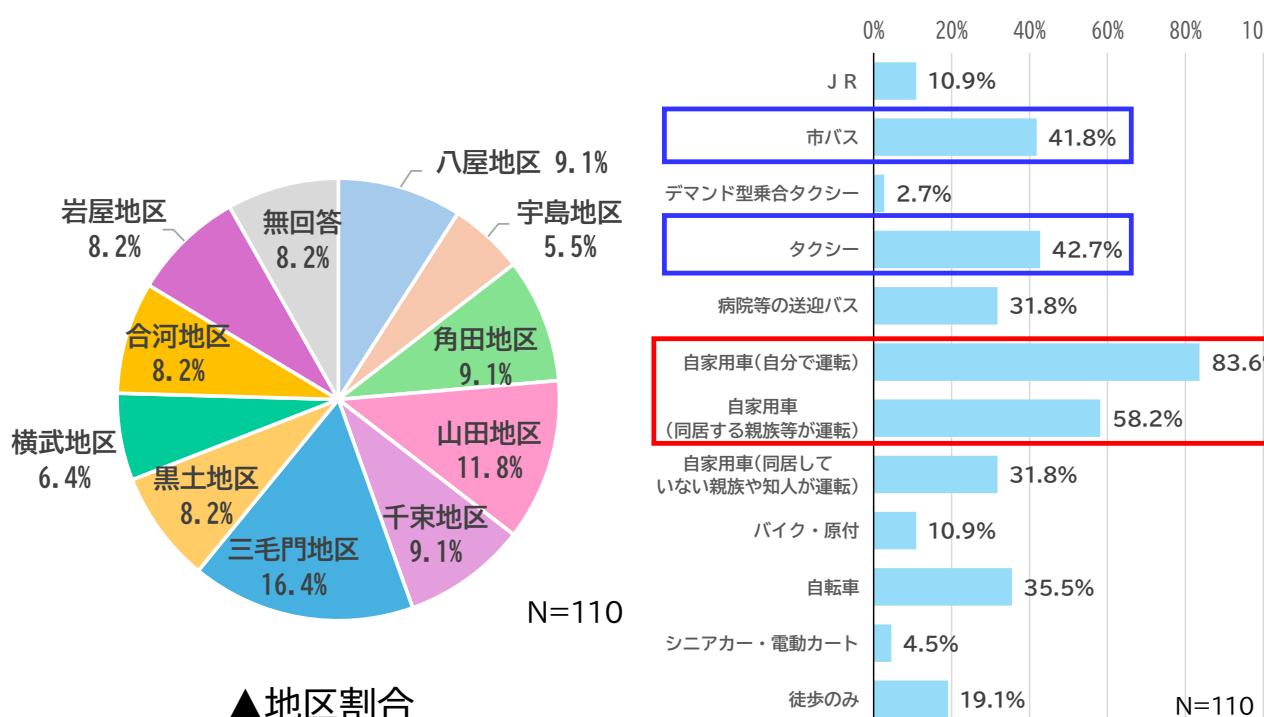
豊前市より、WEBアンケートへの回答を依頼

対象者

豊前市各行政区の区長

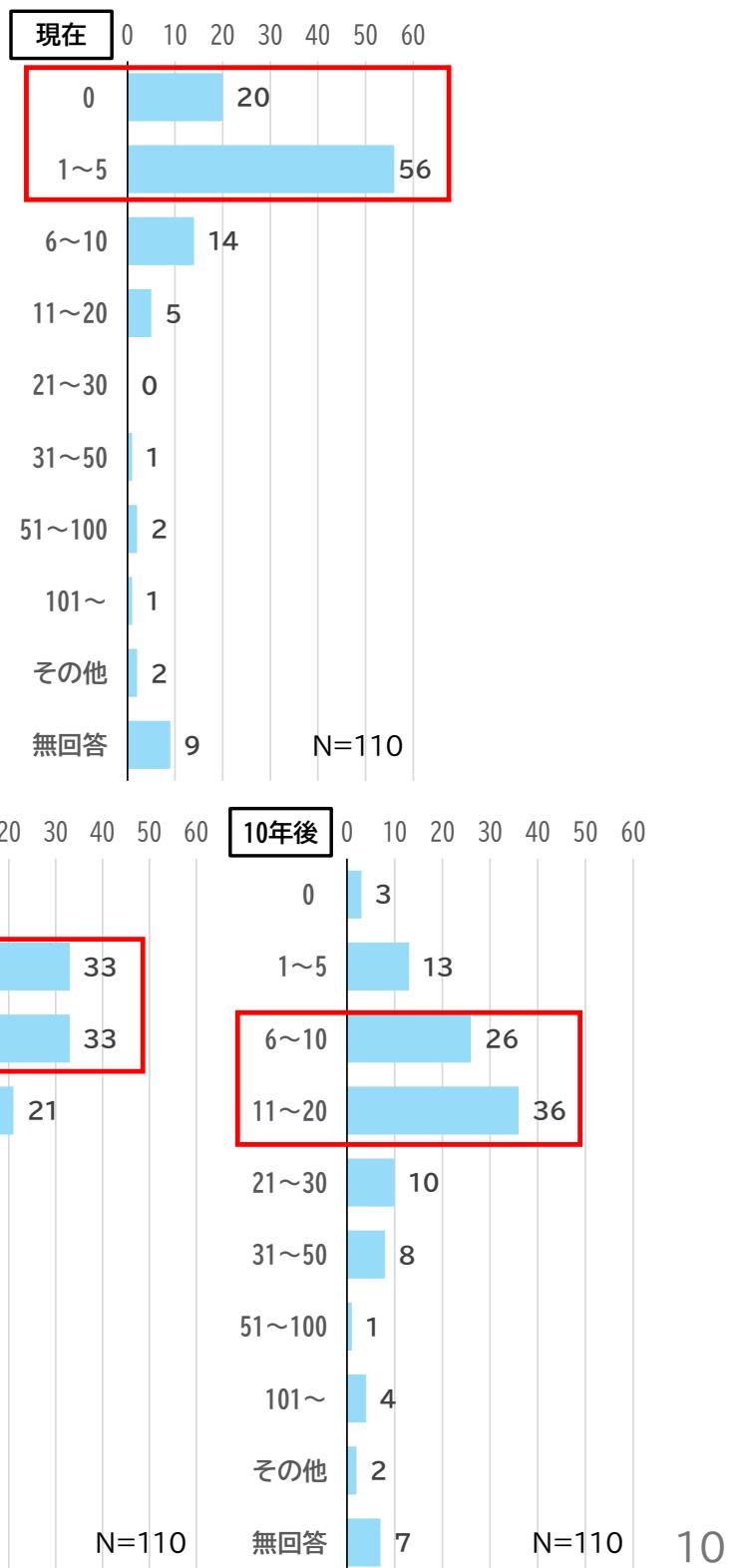
■移動支援

※四捨五入の関係で100.0%とならない場合がある



▲1人で外出できる方の移動手段

■地域の高齢者の状況



移動手段に困っている高齢世帯数
(将来の想定) ▶

- 回答者は、行橋市からの通学者が約7割と最も多く、女性が約8割を占め、各学年からの回答を得られた。
- 調査時に市バスを利用した学生においては、登校時の交通手段について「市バス」(59%)が徒歩(34%)よりも多く、利用頻度も「ほぼ毎日」との回答が5割近くを占め、同じ学生が市バスを頻繁に利用していることがうかがえる。
- 一方、下校時においては、交通手段は「徒歩」(92%)との回答がほとんどで、市バス利用者は極端に少ない状況である。市バスを利用しないのは「丁度いい時刻に市バスがないから」というのが主な要因となっている。
- 市バスに対する要望としては、試験運行の継続や、運行便数や座席数の増加等、市バスにさらに大人数が乗車できる環境について望む声が多かった。

■調査概要

調査方法

市バス車内にて聞き取り調査
(宇島駅7:40発、7:48発、8:15発)

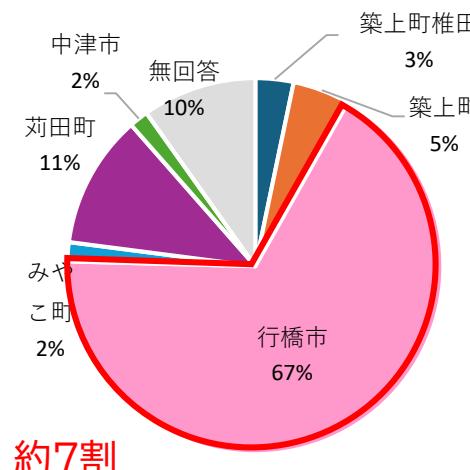
調査対象

「宇島駅～青豊高校前」区間に市バスを利用する学生

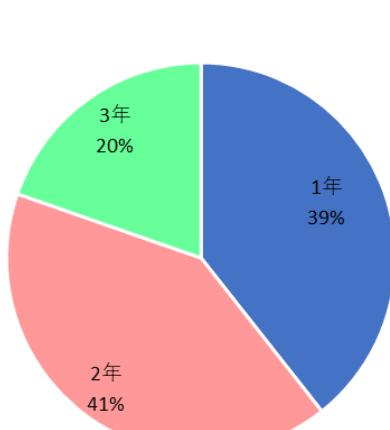
回収数

61部

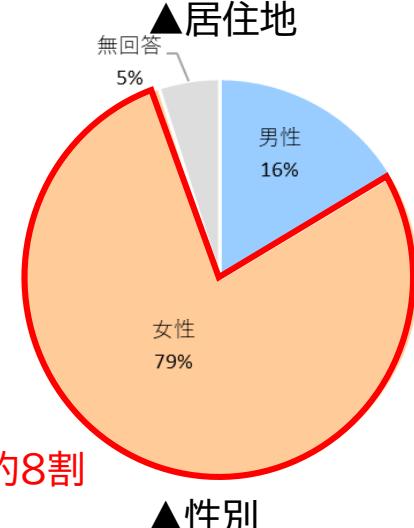
■回答者属性



約7割

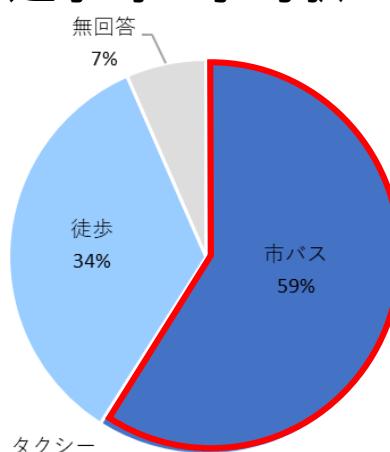


▲学年

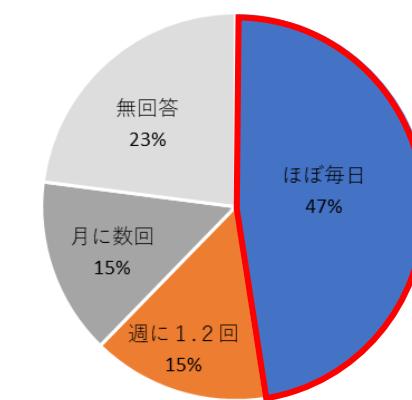


約8割

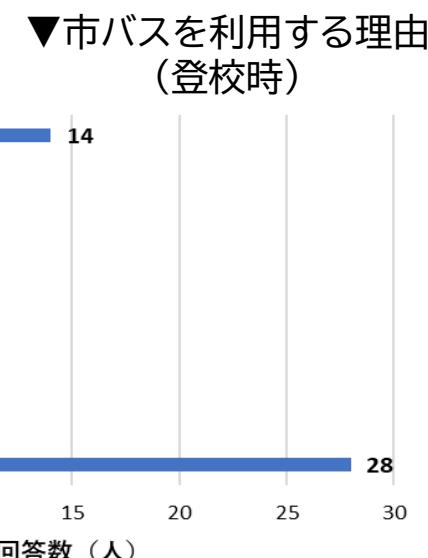
■通学時の宇島駅～青豊高校の交通手段と市バス利用状況



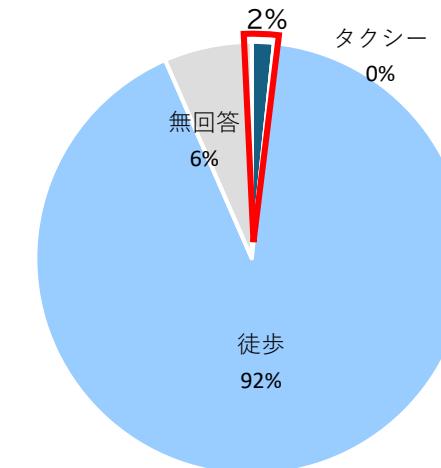
▲登校時の交通手段



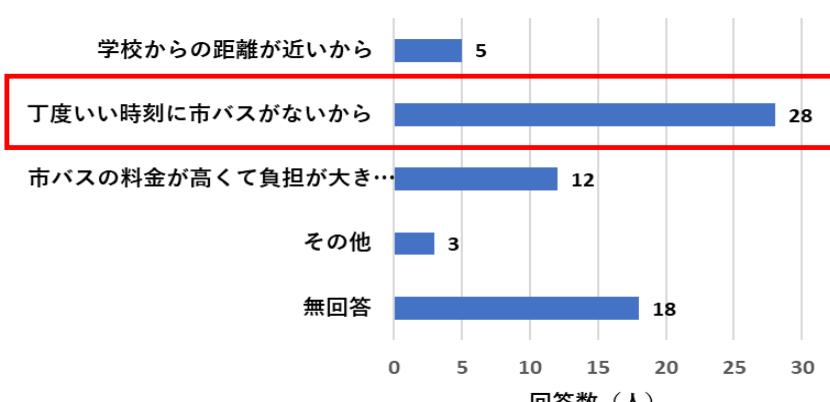
▲市バスの利用頻度



▼市バスを利用する理由
(登校時)



▲下校時の交通手段



▲市バスを利用しない理由(下校時)

- 令和5年度と令和6年度を比較すると、毎月、ほぼ全ての便において、青豊高校の学生の利用者数が多い状況である。特に7月から9月の夏季において大きく増加している。
- 7時40分発および8時15分発の便への乗降が特に多い。
- 令和7年度についても、令和5年度に比べて1日あたりの学生の利用者数が多い状況である。
- 令和7年度に試験運行で増便中の「宇島駅～青豊高校前」区間の直行便においても、7時48分発の便は利用者が多いが、7時16分発の便はほぼ利用がない。
- 7時台前半の利用は少なく、7時台後半から8時台前半にかけての登校のピーク時間帯の利用が多い状況である。

■調査概要

調査方法

運転手によるカウント調査

調査対象

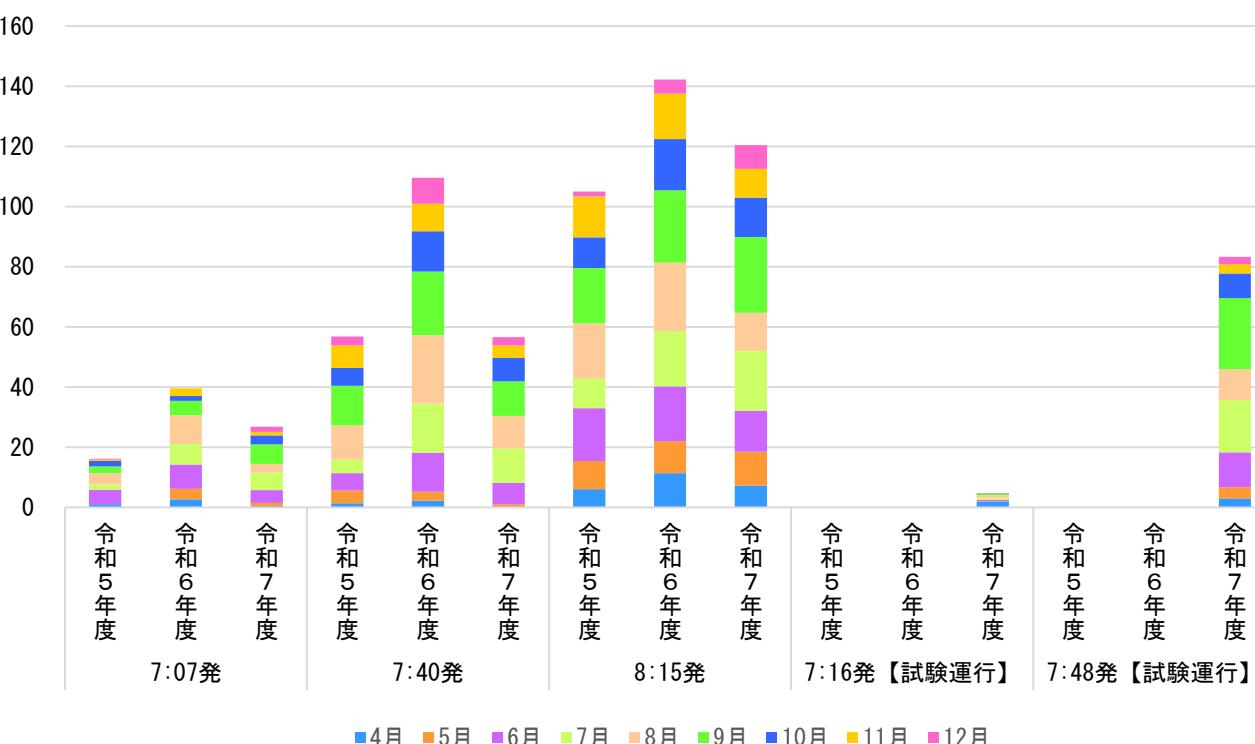
宇島駅を始発とする岩屋線(上り)の5便

- 通常便…7:07発、7:40発、8:15発
- 試験運行便…7:16発、7時48発(R7のみ)

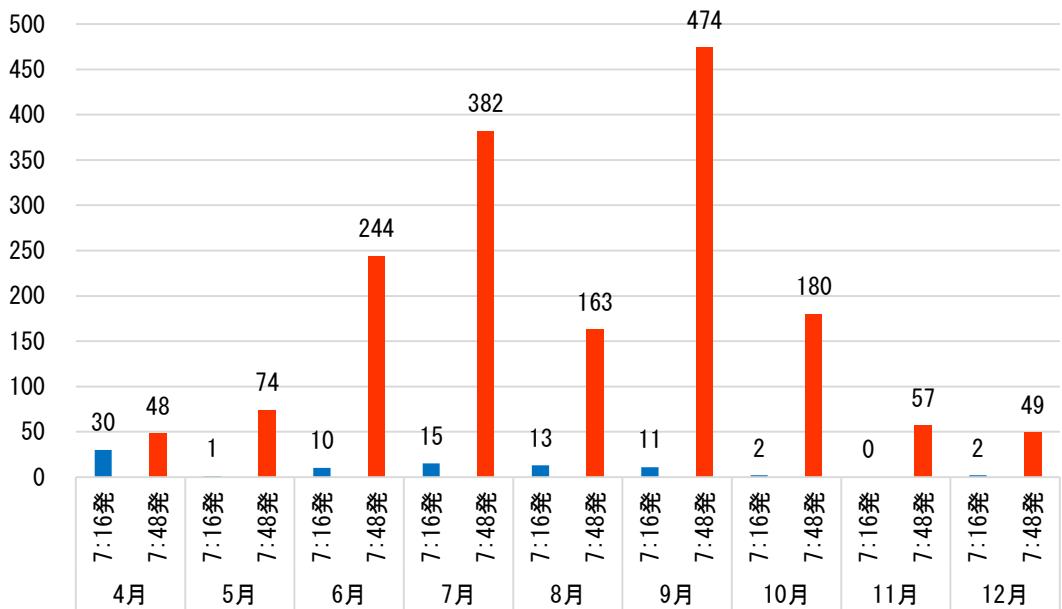
※R5およびR6は、毎月実施の乗降調査結果より抽出

※R7は、試験運行開始日(R7.4.8)以降の平日の学生の乗降客数をカウント

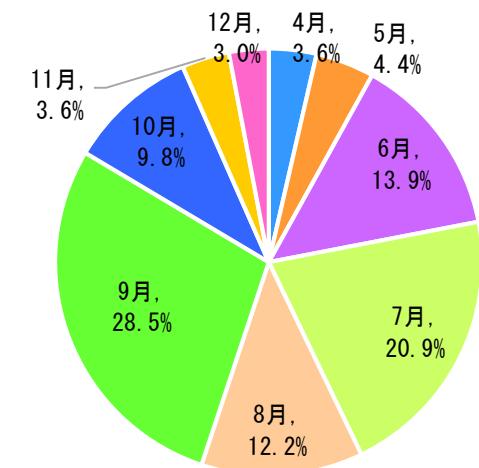
▼各便の1日あたりの利用者数の推移(累計)(人/日)(R5・R6・R7)



▲月ごとの利用者総数の比較(人/月)
(R7 試験運行2便)



▲便ごとの利用者総数
(R7 5便)



1日あたりの利用者数の月別割合
(R7 試験運行7:48発)

※R7については、年度末まで調査を継続実施。
※比較のため、各年度の4月～12月における調査結果について比較・分析した。

※R7については、調査実施日に休校等の学生の利用が少ない(またはゼロ)日も含んでいるため、R5やR6に比べて1日あたりの利用者数は少ない数値結果になっている。

- 回答者の6割が70代以上で、2割程度は10代～20代の学生だった。女性の比率が7割以上と大きかった。
- 市バスの利用頻度は、「ほぼ毎日」(33%)、「週に1,2回」(33%)、「週に3,4回」(20%)の順に多く、回答者の8割以上は毎週のように市バスを利用している状況だった。
- 目的地としては、「商業施設」(25%)、「病院」(22%)の順に多く、買い物および通院のために市バスを利用する場合のみで5割近くを占めたが、その他、様々な目的で市バスが利用されているような状況だった。
- 利用者からは、運転手に対するお褒めの意見がある一方、JRとの乗り継ぎの悪さや運行便数の少なさへの指摘など、改善を求める意見も多数あった。

■調査概要

調査方法

市役所交通政策室窓口および市バス車内にて
聞き取り調査

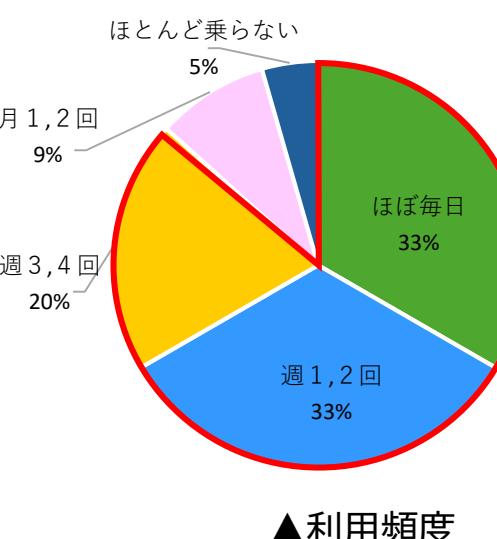
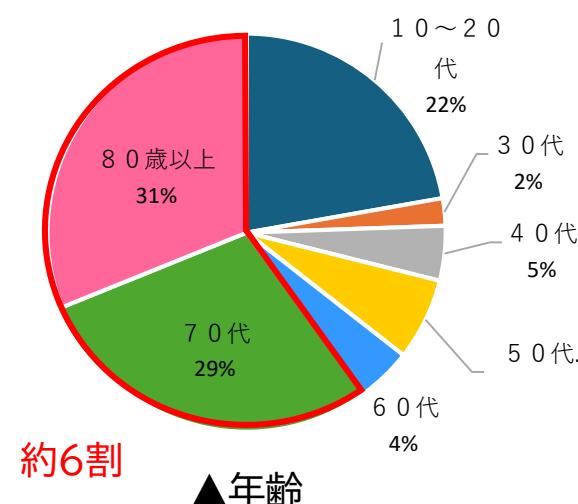
調査対象

豊前市バス利用者

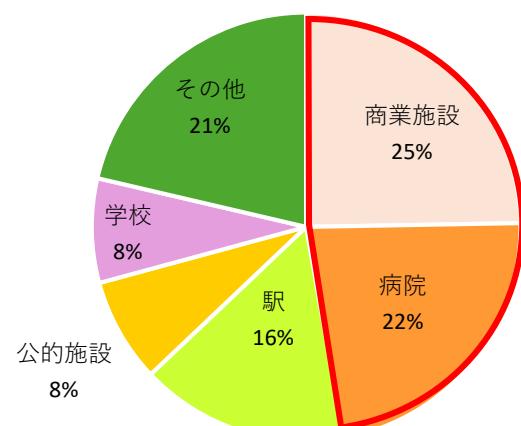
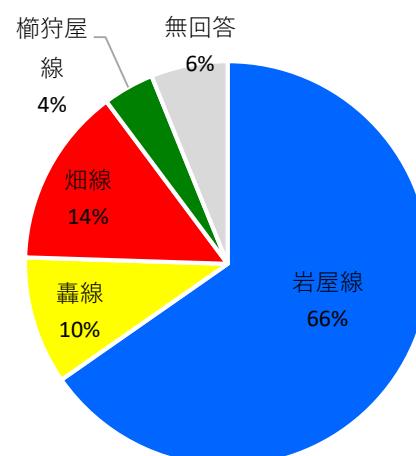
回収数

45部

■回答者属性



■利用状況



▲利用路線

▲目的地

目的地の詳細▼

【商業施設】
ふれあい市場・ドラッグストアモリ・細川・アタックス・トライアル・ナフコ

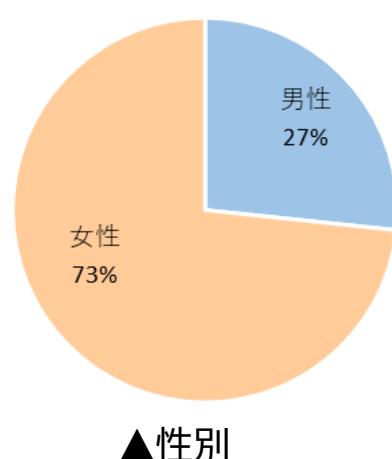
【病院】
清田整形外科・花岡医院・三浦眼科・重岡胃腸科外科・きくち整形外科・第一診療所・わたなべ歯科など

【駅】
宇島駅・豊前松江駅

【公的施設】
豊前市役所・横武公民館

【学校】
青豊高校・横武小学校・合岩小学校・山田小学校

【その他】
ト仙の郷・美容院・習い事・祖父母や友人宅・豊前郵便局



▼市バスについてのお褒めの意見

- 運転手さんの子どもたちへの声掛けがすばらしい。
- 運転手さんが下りるときに優しい声掛けをしてくれるので心が和みます。
- 運転手が親切

▼要望や改善を求める意見

- JRとの乗り継ぎが悪い
- 低床バスは乗りやすく、マイクロバスは段差があり乗りにくい。
- 日曜日の本数を増やしてほしい
- バス停の時刻表が見にくい。上り下りが分かりにくい。
- バスの本数が少ないので、帰りのちょうどよい時間にバスがない。
- 回数券をもう少し大きくしてほしい。
- ゆめマート豊前を利用するが信号を渡らないといけない。